

「長野県母子衛生学会誌」投稿チェックリスト

***貴稿が投稿規程に沿ったものであるか、初稿は1～16・19～20に、第2稿以降は1～20の□にチェックし、原稿と共に提出してください。Word ファイル、PDF ファイルどちらでも構いません。**

論文受付番号	(初回投稿では記載する必要はありません)				
提出日		投稿回数	☐ 初稿	☐ 第2稿	☐ 第3稿
論文表題					
希望論文種別	☐ 総説	☐ 原著	☐ 研究報告	☐ 速報	☐ 症例報告

☐	1. 全著者が本学会員であり、当該年度の年会費を支払っている
☐	2. 論文として他誌に未発表であり、投稿中でない
☐	3. ヒトを対象にした研究において倫理委員会に申請する必要がある論文は、審査を受け承認を得ている旨を論文内に記載している（委員会名： ，承認番号： ）
☐	4. 論文内の表記は、個人が特定されない配慮を施した記述になっている （個人が特定可能な氏名、イニシャル、住所、生検・剖検・画像情報に含まれる番号は記載しない。日付は年月までとし日時を削除する。年齢は論文の目的に影響しない範囲で『20歳台』等記載を工夫する。）
☐	5. 利益相反（COI）に関する申告書を提出している
☐	6. 原稿執筆要領に沿って記述をしている（40字×20行、本文はページ毎に行番号（1～20））
☐	7. 著者数は、原著、研究報告10名以内、総説、速報5名以内、症例報告8名以内である
☐	8. 本文（文献を除く）、図表の文字数（本文はスペースを含まずにカウント） 本文（ ）字 図・表・写真（ ）字
☐	9. 規程文字数を超える場合には、その理由をカバーレター等に記載している
☐	10. 本文の構成は、Ⅰ．緒言（目的含む）、Ⅱ．研究（実験）方法、Ⅲ．結果（成績）、Ⅳ．考察、Ⅴ．結語である（総説と症例報告の構成はこの限りではない）
☐	11. 文献は、投稿規程に沿って記載されている
☐	12. 英文抄録は、専門家の native check を受けた
☐	13. 原稿は4つのファイルで作成している。①表題、所属、著者名、和文抄録、キーワード、著者連絡先、②本文、文献、③図、表、写真、④英文（表題、所属、著者名、抄録、キーワード）
☐	14. 同一の原稿から作成した正本・副本の2種類を準備している
☐	15. 副本は、著者、所属、倫理委員会、助成機関など投稿者を特定できる事項を○○○に変換する処理をしている
☐	16. 提出ファイルは、事務局指定のパスワード付きのPDFファイルである（メール提出の場合）
☐	17. (第2稿以降) 原稿及び査読者への回答に、氏名・所属など著者が明らかになる情報を記載していない
☐	18. (第2稿以降) 原稿及び査読者への回答に、修正箇所を明記している（下線、ハイライトで示すなど）
☐	19. 別刷の希望： ☐ なし ☐ 白黒30部 ☐ 白黒50部 ☐ カラー30部 ☐ カラー50部
☐	20. 初稿は1～16・19～20に、第2稿以降は1～20の項目について、もれなくチェックを付けている

責任著者署名